

農作物栽培計画

改定日 平成28年 9月 17日

団体名 (代表名)	農事組合法人 ながさき南部生産組合	生産者名 及び戸数	岩永政 他10名	住所	〒859-2305 長崎県南島原市北有馬町戊2465-1	TEL FAX	0957-84-3393 0957-84-3177
--------------	----------------------	--------------	-------------	----	---------------------------------	------------	------------------------------

作目	ミニトマト	品種名	あいこ	出荷期間(時期)	11月中旬～7月下旬
----	-------	-----	-----	----------	------------

栽培面積	243a	生産量	前年度実績	出荷規格	120g・150g・200g・3kg
反当株数	1,500株	(トン)	今年度計画	荷姿	段ボール・コンテナ

年間栽培計画

月次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業内容	誘芽 引き	誘芽 引き					収 穫 終 了		元ハ定 肥ウ植 ス開 ・始 マルチ 被覆	灌誘水 水引	灌誘水 水引	誘芽着 引か果 ぎ処開 理始
防除等	※化学合成農薬等の使用については、「ながさき南部生産組合:ミディ、アイコの防除計画」を参照して下さい。											

土作り、施肥について	栽培の特徴	商品特徴・PR
有機配合肥料 アニリッチゴールド(6・8・3)・オーガニック(7・4・2)フィッシュパウ ワー・カキライム・ぼかし・マイルドフミン・サングワノ・ハーモ ニーシェル・マグマックス・古代天然苦土・ニーム・ニューシープ ロテイン・アルギーゴールドコフナ1号・木酢・点心・キーゼライト 完熟堆肥・苦土石灰・多木有機液肥1号・2号・3号・アグリハー モニー2号・有機バイオ液肥 萌え育ち液肥・6-4-2 完熟堆 肥有機質肥料を主体に化成の窒素を15kg/10a以内に抑えま 長崎県慣行基準促成栽培化成窒素39kg	化学合成農薬の使用を必要最小限にとどめてい ます。除草剤も使用せず、有機質を中心とした肥培管理を行い、よりよい土作り、作物作りに努めています。ホルモン処理のみでの着果促進を見直し、マルハナバチも可能な限り利用しています。	肉厚で酸味が少なく普通のミディトマトよりリコピンが多く含まれ果実中のゼリー分が少なく肉厚なため果汁が飛び散りにくく口の中に果皮が残りにくいです。プラム型のためスライスしやすい。うまみ成分のグルタミン酸含有量が高く生食以外にも加熱調理など幅広く対応できます。

対象病害虫	特裁表示カウト	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休業期間
【 殺 虫 剤 】									
コナジラミ類 ハモグリバエ類 アブラムシ類	1	19103	ベストガード粒剤	ニテンピラム	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{2}$ 1~2/株	1回	鉢上げ時
								1回	定植時
	1	20806	アルバリン粒剤	ジノテフラン	普通物	A	5g/培土 $\frac{1}{2}$ 1~2/株	1回	育苗期
									定植時
	1	20812	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	A	3000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	1回	前日
コナジラミ類	1	22696	アニキ乳剤	レピメクチン	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
オオタバコガ ハスモンヨトウハモ グリバエ類							2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)		
ハモグリバエ類 オオタバコガ・ダニ	1	19842	アフアーム乳剤	エマクチン安息香酸塩	普通物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	5回	前日
ダニ・タバコガ	1	19184	コテツフロアブル	クロルフエナピル	劇物	C	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
コナジラミ類	1	22797	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン	普通物	B	4000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
コナジラミ類	1	22093	クリアザールフロアブル	スピロメシフェン ル	普通物	B	2000~4000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	2回	前日
うどんこ病・ハダニ 類・アブラムシ類	0(有)	20316	サンクリスタル乳剤	脂肪酸グリセリド	普通物	A	300~600倍 (150~500 $\frac{1}{2}$ /10a)	4回	前日
コナジラミ類 アブラムシ類	1	19102	ベストガード水溶剤	ニテンピラム	普通物	A	1000~2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
コナジラミ類・ダニ ハモグリバエ類 オオタバコガ	1	22464	プレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール水和剤	普通物	B	100倍 1株当たり2.5ml	1回	育苗期~定 植前日
							2000倍 100~300 $\frac{1}{2}$ /10a	3回	前日
コナジラミ類・ダニ ハモグリバエ類 オオタバコガ	1	20016	マッチ乳剤	ルフェヌロン	普通物	B	2000~3000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	2回	前日
コナジラミ類 アブラムシ類	1	19113	モスピラン水溶剤	アセタミプリド	劇物	A	2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日
コナジラミ類 アブラムシ類	1	23187	モベントフロアブル	スピロテトラマト	普通物	-	1000倍 1株 25~50ml	1回	育苗期後 半・灌注
コナジラミ類 アブラムシ類							2000倍 (100~300 $\frac{1}{2}$ /10a)	3回	前日

【殺菌剤】									
灰色かび病・葉かび病・菌核	1	22209	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	普通物	B	2000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
うどんこ病	1	22209	アフェットフロアブル	ペンチオピラド	普通物	B	4000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
うどんこ病	0	17827	イオウフロアブル	硫黄	普通物	A	500～1000倍	—	—
葉かび病	1	21469	カンタスドライフロアブル	ボスカリド水和剤	普通物	A	10000～1500倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
うどんこ病・さび病 灰色かび病・葉かび病	0	18358	カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物	A	800～1000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	—	前日
疫病	2	23455	ザンプロDMフロアブル	アメトクトラジン・ジメトモルフ	普通物	—	1500倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
うどんこ病・すすかび病・ 灰色かび病・葉かび病	2	22290	シグナムWDG	ピラクロストロピン ボスカリド	普通物	C	2000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	2回	前日
うどんこ病	2	21117	パンチョTF顆粒水和剤	シフルフェナミド・トリフルミゾール	普通物	B	2000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	2回	前日
すすかび病・灰色かび病・ 葉かび病・菌核病・斑点病	1	23102	ファンタジスタ顆粒水和剤	ピリベンカルブ	普通物	—	2000～3000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
灰色かび病	1	19100	フルピカフロアブル	メパニピリム	普通物		2000～3000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	4回	前日
疫病・葉かび病	2	20354	ホライズントドライフロアブル	シモキサニル ファモキサドン	普通物	C	1500～2500倍 (150～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
疫病	1	20624	ランマンフロアブル	シアゾファミド	普通物	A	1000～2000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	4回	前日
葉かび病	1	17687	ラリー乳剤	マイクロブタニル	普通物	B	2500～5000倍 (150～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
疫病・ベト病	1	22379	レバースフロアブル	マンジプロパミド	普通物	—	2000倍 (100～300 $\frac{1}{2}$ %/10a)	3回	前日
【着果促進剤】									
着果促進・果実の肥大促進	1	6072	トマトトーン	4-CPA	普通物	C	低温時50倍 高温時100倍	1花房につき1回	—

【生物農薬】

対象病害虫	特裁表示カウント	登録番号	使用選択農薬	成分	毒性	魚毒性	濃度	使用限度回数	休薬期間
トマトサビダニ	0	18406	コロマイト乳剤	ミルベメクチン	普通物	C	1500倍 (100~300% _{10a})	2回	前日
灰色かび病・うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	1000倍 (150~300% _{10a})	—	発病前
うどんこ病	0	20080	ボトキラー水和剤	バチルス・ズブチリス	—	—	使用量：300g/10a 使用液量：6~10% _{10a}	—	発病前~ 発病初期
葉かび病	0	21071	インプレッション水和剤	バチルス・ズブチルス	—	—	500倍	—	発病前~ 発病初期
コナジラミ類	0	20956	ポタニガードES	ボーベリア バシアーナ	—	—	500~2000倍 (100~300% _{10a})	—	発病前~ 発病初期

※ 圃場で使用する農薬に多少違いは生じると思いますが、化学合成農薬の殺菌剤・殺虫剤の農薬総使用回数(成分カウント)を20回以下1回でも使用回数を減らすよう努力致します。

※ 化学合成農薬以外にも生物農薬を使用します。

※ 慣行栽培(ミディ：58回・ミニ：56回)における農薬の使用状況例と比較して頂き、減農薬栽培としての努力を御理解ください。

※ 通常マルハナバチによる着果促進を行い、補完的に植物調整剤を使用します。

※ 農薬の使用回数にあたっては、育苗時(購入前も含む)の防除も含めて個々の農薬の使用限度回数を守ってください。

※ (有)は有機で使用可能。

※平成28年9月17日 ディアナSC・ラノーテープ・サンマイトフロアブルを削除する。

※平成28年9月17日 ラリー乳剤・シグナムWDG・ファンタジスタ顆粒水和剤を追加する。